

長崎県議会議員 深堀 ひろし だより

第10号

平成25年11月発行

発行責任者／深堀 ひろし

背景：稲佐山からの夜景（長崎市）

元気な

よかけん

街 創る

— ぐあいさつ —

夏から秋にかけての気象は、猛暑が続くかと思えば、大雨や台風の襲来と自然の驚異をずむずむと感じせしめておりさすが皆様いかがお過ごしでしょうか。

先般閉会した9月定例会議会では懸案であった世界遺産登録や諫早湾開門問題、県営バスの路線廃止問題（東長崎地区）などに動きがあり、活発な議論が交わされました。



地域後援会役員と事務所開設に協力いただいた皆さん

もちろん、議員及び行政はそれぞれの立場で主張する訳ですが、手法は違えども目指すべき方向は「県民の安心安全な生活」であることは間違いありません。

そして、定例会議会のあと休む間もなく平成24年度の決算を審査する予算決算委員会を実施しました。その自治体に先駆けて実施している事業に力をつけ、3年目を迎えどうにか軌道に乗ってきたようです。

私事ではありますが、この10月に「深堀ひろし事務所」を地元の平和町に開設いたしました。政治活動をはじめ6年、地域に根差して活動と常に念頭に置いてきましたが、その拠点となる事務所を開設できたことは、大きな喜びです。

ご協力いただいた関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。

これからもう一層、地域に密着した政治家として活動していく所存でありますので、ご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

また、事務所の方にも、是非、お立ち寄りくださるようお願いいたします。

深堀 ひろし



平成25年9月 長崎県議会定例会報告



9月5日に開会した定例会は10月11日に閉会し、その後10月21日から11月1日まで予算決算委員会を実施しました。

定例会は、総額77億4,900万円の一般会計補正予算案や長崎県営土地改良事業分担金徴収条例の一部改正や長崎県病院企業団規約の変更に関する協議などの15議案を審議し可決・同意しました。

また、この議会中の大きな動きとしては、何と言っても世界遺産の推薦に関する件でありました。

議会開会日の9月5日、長崎県議会としては二つの世界遺産候補のうち、準備の熟度が高く歴史的な信徒発見から150周年の節目となる2015年の本登録を目指して「長崎の教会群」を優先して推薦するよう国に求める意見書を採択いたしました。しかし、9月17日、官房長官は本年度のユネスコへの推薦を「明治日本の産業革命遺産」に決定したのです。

私も議会一般質問において「長崎の教会群」の本登録に向けた提案等を行っていただけに、残念な結果であるというしかありません。

しかしながら、別の視点でみれば産業革命遺産も中心的な資産は長崎市に集中しており、これらが世界遺産に登録されることは、大変喜ばしいことでもあります。

ただし、この遺産群には稼働資産「三菱第三ドックやクレーン」が含まれていることや軍艦島の保存計画及び整備費用の問題など課題が多いのも事実ですが、このような状況になった以上、2015年の産業革命遺産、2016年の長崎の教会群の世界遺産登録に向け、県民一体となった登録推進活動がこれからも重要になってくると考えております。

平成25年度9月補正予算(案)の主な内容

●地域医療再生臨時特例基金事業費…9億9,050万4千円

医師確保や在宅医療推進など地域における医療課題の解決に向けて県が策定した第3次「地域医療再生計画」に基づく事業を実施

〔計画概要〕

- ・事業期間 H25～H27
- ・交付額 9億6,197万9千円(今回基金積み増し)

〔主な事業(H25)〕

- ・在宅医療連携拠点事業・・・1,545万円
在宅医療体制の構築に向けて、協議会開催や普及啓発等を実施
- ・ヘリポート設置整備事業・・・2,743万5千円
- ・しまの病院ワーキングママサポート事業・・・556万円
一人親家庭の医師や看護師が離島病院に勤務する際の子育て支援を実施

●障害福祉関係施設整備助成費(一部)…1億8,914万4千円

(新)スプリンクラー整備事業
共同生活介護事業所等のスプリンクラー整備に対する助成

- ・補助対象 144施設
- ・補助率 国(基金)1/2 県:1/4 設置者:1/4

●世界遺産登録推進事業費……1,298万9千円

「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」の世界遺産登録に向け、教会堂の来訪者受入体制の整備、電柱・電線の移設による景観整備等の各種対策を実施

●ながさき海洋・環境産業雇用創造

プロジェクト事業費……2億5,931万円

グローバル競争下で勝ち抜く地域産業構造への発展を図るため、国の戦略産業雇用創造プロジェクトを活用し、高付加価値船等の受注拡大や海洋関連産業の拠点形成に向けた人材育成等を実施

- ・補助率 国:4/5 民間・自治体等1/5
- ・事業期間 H25～H27
- ・総事業費 約22.3億円

●新県立図書館等整備事業費……204万2千円

県と大村市の合築により建設する一体型図書館及び長崎市に建設する郷土資料センター(仮)の整備に向け、今後の設計の基礎となる基本計画を策定

- ・基本計画策定(H25～26年度)
組織・運営面等詳細設計
規模・フロア構成・イメージ図作成 等
別途債務負担行為(上限額1,710万円)計上
- ・有識者会議の設置 93万円
- ・地区別説明会の開催等 111万2千円

条例議案等の主な内容

○長崎県ワクチン接種緊急促進基金条例を廃止する条例(医療政策課)

国のワクチン接種緊急促進臨時特例交付金により設置された長崎県ワクチン接種緊急促進基金を活用したワクチン接種緊急促進事業が平成25年3月31日をもって終了したことから、長崎県ワクチン接種緊急促進基金条例を廃止するもの。

- ・国へ返還する残余额 2億5,264万6千円
- ・施行日 公布日

○長崎県病院企業団規約の変更に関する協議について(医療政策課)

長崎県病院企業団規約の一部改正について、関係市町と協議を行うにあたり、地方自治法第290条の規定に基づき、議会の議決を得ようとするもの。

- ・長崎県病院企業団規約の一部改正
奈留病院の診療所化に伴い、別表1の「奈留病院」を削除。
- ・施行日 総務大臣の許可の日から施行し、平成26年1月1日から適用する。

○長崎県固定資産評価審議会条例の一部を改正する条例(税務課)

地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律整備に関する法律(第3次一括法[H25.6.7成立])により地方税法が改正されたことに伴い、所要の改正を行うもの。

地方税法で規定されていた「固定資産評価審議会」の委員定数が削除されたことに伴い、条例において、同規定を新設するもの。

- ・委員 12名(現行と同様)
- ・構成は、一級建築士、弁護士、大学教授、不動産鑑定士、税理士など
- ・施行日 H26.4.1

○長崎県水防協議会条例(河川課)

第3次一括法により水防法が改正されたことに伴い、所要の改正を行うもの。

水防法で規定されていた「都道府県水防協議会」の委員定数が削除されたことに伴い、条例において、同規定を新設するもの。

- ・会長 1名 ・委員15名(現行と同様)
- ・構成は、国交省、自衛隊、警察、海洋気象台、市・町村長会、消防協会など
- ・施行日 H26.4.1



農水経済委員会における私の質疑・要望

質問

国から事業認定を受けた「ながさき海洋・環境産業雇用創造プロジェクト」は、今年度から3年間で総事業費22.3億円を投じて、成長する次世代造船業と海洋産業に対応する人材育成と雇用創造策を講じ1,129名の雇用を創出する計画となっている。この雇用創出はどのような算定根拠なのか。

また、人材育成というものは本来、企業の責務であり、どのような産業であれ自らの努力で行うことが当然である。本事業で実施する人材育成の意義は何か。

回答 雇用創出は、OJT事業後に正規雇用となる者を515名、事業実施効果による新規正規雇用となる者215名、非正規雇用となる者240名、

その他、技術修得で非正規雇用から正規雇用に変わる者159名を見込んでいる。

本事業での人材育成とは、「ながさき海洋・環境産業拠点特区」に掲げる目標を実現するためのものであり、一般的な企業の人材育成とは異なるものである。

質問

日本版EMECを本県に誘致するため、実証フィールドの候補地として、五島市と西海市・新上五島町の共同提案の海域を選定しているが、選定理由と海域での発電方式は何か。

回答

県内各市町へ募集をかけたところ、長崎市、平戸市、五島市、西海市・新上五島町の4市1町から提案があったが、有識者会議において国への公募条件とされる地元調整が進んでいるという理由から五島市、小規模試験機の実証実験の需要が見込まれる西海市・上五島町の海域を選定した。

五島市では浮体式洋上風力発電と潮流発電、西海市・新上五島町は潮流発電となっている。

東長崎地区のバス路線問題

今年7月3日に公表された東長崎地域のバス路線見直し問題!!

これは、運行事業者である県営バスが来年4月から長崎中心部～網場・矢上地区の運賃を値下げすると同時に、ローカル路線8路線等を廃止するというものです。

そもそも県営バスの運賃は全国的には低水準であるものの民間事業者と比較すれば運賃が高い状況にありました。このため、東長崎地域から運賃値下げの要望が絶えない状況でした。

そこで今回、県営バスは主要路線である長崎中



心部～網場・矢上地区の運賃を民間事業者程度に値下げする方針を固めたのですが、その財源に充てるために赤字路線を廃止する効率化策を選択したのです。一方、その廃止対象路線も長崎市から補助金が支出されるのであれば、存続も可能であるとの事でした。

この説明を受け、議会としては、地元の意向を十分尊重するとともに長崎市の考え(補助金支出の是非等)も聴取した結果、廃止路線の縮小(実質3路線の廃止等)を図り、バス対策協議会へ申し入れすることを了承しました。

今後は、バス対策協議会で協議を行い今年中には最終決定がされる見込みとなりました。



決算委員会報告

3年目を迎えた事業仕分け。

私たち農水経済委員会では、①「技能者育成強化対策事業」、②「小規模漁協合併支援事業」、③「農業の6次産業化支援事業」の3事業を実施しました。

結果としては、①②は要改善、③は拡充という判定。③は、これからの農業を発展させるには不可欠な事業であることから全員一致で拡充と判定しましたが、他の2事業については、

事業のあり方や実施内容について意見が続出しました。

私は②について、人材育成面では有効であるが、高等技術専門校のコースとして実施した方が効率的であると指摘しました。また、③についても合併ありきではなく、小規模漁協の活性化の観点から各種の選択肢を示すことも必要だと指摘しました。

このように、決算審査において事業仕分けを行うことは、次年度の事業策定に議会の意見を反映できることから非常に有益なものとなっています。



⑩ ゆめおす調査



⑨/27 長崎電気軌道労組定期大会



⑨/28 運輸労連定期大会



⑨/21 山里中学校定期演奏会



⑩/4 長崎私交通労組への議会報告



⑨/9 諫早干拓開門工事抗議集会

写真で振り返る
深堀ひろし
活動日記



⑩/6 ひきこもりシンポジウム



⑨/26 出島タイムトリップ
ビュー体験



⑨/15 浦上教会敬老会



⑨/16 本原町敬老会



⑩/5 電力総連ソフト
バレーボール大会



⑧/25 軍艦島ビーチバレー大会



⑨/16 橋口町敬老会



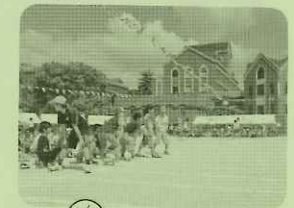
⑨/18 国体壮行式



⑨/24 かたろうで県議会上五島



⑨/22 長崎私交通労働組合
定期大会



⑨/22 地域運動会



ち
ひろ
とと
息

歌っちゃいました！！

同級生が出演するミニライブを応援に行ったのですが、突然「中学校の修学旅行で『ランナウェイ』を共に歌った仲間が応援に来てくれました」と私を紹介。

参加者から『ランナウェイ』コールが巻き起こり、引くに引けず歌っちゃいました。あー恥ずかしい！！



長崎県議会議員

深堀 ひろし

事務所を開設いたしました
お気軽にお立ち寄りください

長崎市平和町4-20
TEL 095-894-8470
FAX 095-894-8471



*インターネットでも深堀ひろしの活動報告をご覧ください
<http://www.fukahorihiroshi.net/>

